

作成日:2019年12月05日

製品安全性データシート

1. 【製品及び会社情報】

カタログ番号 281110
 製品名 BD Difco™ SFP寒天基礎培地
 会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 住所 東京都港区赤坂4丁目15番1号
 連絡先 0120-8555-90
 利用可能時間:9:00 - 17:00(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)
 使用上の制限 研究用試薬

2. 【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険	火薬類	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
	高圧ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	分類対象外	
	自然発火性固体	分類できない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類できない	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類できない	
	有機過酸化物	分類できない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入:ガス)	区分外
		急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性・刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		分類できない	
呼吸器感作性		区分1	
皮膚感作性		区分1	
生殖細胞変異原性		区分外	
発がん性		区分外	
生殖毒性		区分外	
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露)	区分外		
特定標的臓器・全身毒性(反復曝露)	区分1(呼吸器系)		
吸引性呼吸器有害性	分類できない		

環境に対する有害性 水生環境急性有害性 区分外
 シンボル 水生環境慢性有害性 区分外



注意喚起語 **危険**

危険有害性情報 飲み込むと有害(経口)
 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 長期または反復暴露による臓器の障害(呼吸器系)

注意書き

安全対策

- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

応急処置

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合、石鹼と流水、シャワーで洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・冷乾所に容器を密閉しておくこと。
- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

保管
 廃棄

3. 【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
クエン酸鉄アンモニウム	1~3	1185-57-5	(1)-314、(2)-1324	-
亜硫酸水素ナトリウム	1~3	7631-90-5	(1)-502	-

4. 【応急措置】

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、石鹼と流水、シャワーで洗うこと。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

目の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状および遅発性症状

口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

最も重要な兆候及び症状

データ無し

応急措置をする者の保護

データ無し

医師に対する特別注意事項

データ無し

5. 【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	データ無し
特有の危険有害性	消火の際は煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用し、風上から行う。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	消火作業の際は適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用し、風上から行う。
保護具および緊急措置	
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	漏洩物を密閉できる空容器に回収する。 漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	特に無し
局所排気装置・全体換気	取扱い場所には局所用排気装置を設置し、換気を行なうこと。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 使用前に使用説明書を入手すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避	特に無し
保管	
技術的対策	特に無し
混触禁止物質	特に無し
保管条件	冷乾所に容器を密閉しておくこと。
容器包装材料	データ無し

8.【曝露防止及び保護措置】

製品としての情報がないため以下、クエン酸鉄アンモニウムおよび亜硫酸水素ナトリウムの曝露防止及び保護措置を記載する。

クエン酸鉄アンモニウム

管理濃度(作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会(2010年版)	未設定
ACGIH(2010年版)	TLV-TWA 1mg/m3(鉄水溶性塩)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。取扱い場所には局所用排気装置を設置し、換気を行なうこと。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護具・保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後は顔や手をよく洗うこと。

亜硫酸水素ナトリウム

管理濃度	未設定
------	-----

(作業環境評価基準)**許容濃度**

日本産業衛生学会 未設定
ACGIH(2005年版) TLV-TWA 5mg/m³

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具 換気が十分でない場合には、呼吸用の保護具を着用すること。
手の保護具 保護手袋を着用すること。
目の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具 保護衣及び長靴を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9.【物理的及び化学的性質】

物理的状态、形状、色など	紛体
臭い	特異臭
pH	データ無し
融点・凝固点	データ無し
沸点、沸騰範囲	データ無し
引火点	データ無し
発火温度	データ無し
爆発範囲	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重(密度)	データ無し
溶解度	水に可溶
n-オクタノール/水分配係数	データ無し
分解温度	データ無し
臭いの閾値	データ無し
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データ無し
燃焼性(固体、ガス)	データ無し
粘度	データ無し

10.【安定性及び反応性】

製品としての情報がないため以下、クエン酸鉄アンモニウムおよび亜硫酸水素ナトリウムの安定性及び反応性情報を記載する。

クエン酸鉄アンモニウム

安定性	通常取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	データ無し
避けるべき条件	データ無し
混触危険物質	強酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	データ無し

亜硫酸水素ナトリウム

安定性	通常取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	亜硫酸ガス臭を放ち空気中で徐々に酸化される。
避けるべき条件	加熱、高温、着火源
混触危険物質	強酸化剤、酸、アルミニウム
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物

11.【有害性情報】

製品としての情報がないため以下、クエン酸鉄アンモニウムおよび亜硫酸水素ナトリウムの有害性情報を記載する。

クエン酸鉄アンモニウム

急性毒性

経口 ラット LD: >2mg/kg 胃、消化器-運動過剰、下痢 (RTECS)
ラット TDLo: 16,800 mg/kg/14D-I (RTECS)
経皮 データ無し
吸入 データ無し

皮膚腐食性・刺激性

鉄水溶性塩は皮膚刺激性があるとされている
軽度の皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷・刺激性

データ無し
ただし、眼に入ると、刺激、炎症のおそれがある。

呼吸器感作性

データ無し

生殖細胞変異原性

データ無し

発がん性

データ無し

生殖毒性

データ無し

特定標的臓器／全身毒性(単回)

データ無し

特定標的臓器／全身毒性(反復)

データ無し

吸引性呼吸器有害性

データ無し

亜硫酸水素ナトリウム

急性毒性

経口 ラット LD₅₀ 2000mg/kg
経皮 経皮毒性はデータが不十分であるが、ラット経皮 LD₅₀ > 2000mg/kg のデータが報告されている。

皮膚腐食性・刺激性

動物実験では無刺激であるが、濃厚溶液でヒトに刺激を与えるという情報があり、国連危険物輸送においてもクラス8とされている。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

水溶液での動物実験結果は無刺激とされているが、ヒトの事例がある。

呼吸器感作性

ヒトの疫学情報で、少数例であるが吸入、皮膚接触、経口摂取によるアレルギーが報告されている。亜硫酸酸化酵素欠損のヒトに起こるといわれている。

皮膚感作性

吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

in vitroの試験結果に陽性があるが、in vivoの結果はすべて陰性。

発がん性

ACGIH 2005年 A4 ヒトに対して発がん性物質として分類。
IARC 2005年 グループ 3 ヒトに対する発がん性については分類できない。

生殖毒性

多世代の試験で悪影響が報告されていない。

特定標的臓器／全身毒性(単回)

ヒトのエアゾール曝露で呼吸器刺激が報告されている。呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器／全身毒性(反復)

洗濯労働者、及び食品摂取者に喘息の報告がある。
ヒト、動物への影響はグラム/kg/日オーダーの摂取で報告されている。
長期又は反復曝露による呼吸器系の障害。

吸引性呼吸器有害性

情報無し

12. 【環境影響情報】

製品としての情報がないため以下、クエン酸鉄アンモニウムおよび亜硫酸水素ナトリウムの環境影響情報を記載する。

クエン酸鉄アンモニウム

水生環境急性有害性

データ不足のため分類できない

水生環境慢性有害性 鉄水溶性塩のため、大量に放出されると環境に有害のおそれがある。
データ不足のため分類できない。
水に可溶のため、水生環境へ容易に拡散すると推測される。

亜硫酸水素ナトリウム

水生環境急性有害性

甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC₅₀ = 119000 μg/L

水生環境慢性有害性

難水溶性でなく(水溶解度=540g/L²⁶⁾)、急性毒性が低い

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

国連番号 該当なし

国連分類 該当なし

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15.【適用法令】

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条 別表第9の352 鉄水溶性塩)、(別表第9の26 亜硫酸水素ナトリウム) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条の2別表第9の352 鉄水溶性塩)、(別表第9の26 亜硫酸水素ナトリウム)
労働基準法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
大気汚染防止法	該当なし
水質汚濁防止法施行令第2条有害物質	有害物質(施行令第2条、第2項)(アンモニウム化合物)
海洋汚染防止法	有害液体物質(亜硫酸水素ナトリウム)
消防法	該当なし
船舶安全法	腐食性物質(亜硫酸水素ナトリウム)
航空法	腐食性物質(亜硫酸水素ナトリウム)

16.【その他の情報】

参考文献

- ・ 厚生労働省ウェブサイト 職場のあんぜんサイト
- ・ 製品評価技術基盤機構 GHS混合物分類ツール(GHS改定2版対応版)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

改訂履歴 2019年12月05日 新規作成